

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 COCOきらめき

公表日 令和 8年 1月 25日

利用児童  
数

30 名

回収数

30 名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	3			・ハンモックが使えなくなっていることは非常に残念 ・利用人数が多いと少し狭く感じることもありますが、充分だと思います ・室内でも遊べるようになっており安心です ・色々なおもちゃもあるようですが、しっかり整頓されており活動スペースも充分広いと思う	通常時、ハンモックの使用はしております。室内イベントにおいて、ハンモックの使用が必要のない場合には危険にもなるため結び、手の届かないようにしています。運動室のみならず、学習室においても読書やボードゲーム等、座りで遊べるような空間になっております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27			3	・職員の入れ替わりが早く慣れた頃に辞められてしまい残念です	職員の雇用継続においては会社として特に重要視している問題となっております。職員の勤続年数を伸ばす為、離職率を下げるための働き方や福利厚生の見直しを含めて会社全体で良い形にしていこう努めて参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	3		2	・階段が急な所が少し心配です ・ジョイントマットを市松模様には刺激（視覚）になり落ち着かないと思います	階段が急な為、手すりを使用しての昇降を推奨しています。万が一、危険な場合には必ず職員が同行しています。ジョイントマットの市松模様に関しては、仰る通りです。当事業所にはさまざまな年齢の子どもにご利用いただき、多種多様性を活かせるような働きかけをしています。利便性・機能性の良いものや場所のみならず、さまざまな空間を体感し何を思い、何を考えるか。主観に囚われず、柔軟性を用いて適応力にも対応できる力を身に付けていきたいと考えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1			・いつも清潔に掃除をしていただきありがとうございます	清掃業務、衛生管理には徹底していきたいと考えております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28			2	・職員の経験などによって障害学習の差があるかと思えます。専門性の教育などはどのようなことをされているのでしょうか？	事業所内での事例検討、児童一人ひとりの課題に合わせた取り組み、個別支援などを含めた共有や意見交換、支援の質の向上と外部での講習、研修会の参加とそれらのアウトプット作業を執り行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30				・しっかりと聞き取りをしてもらい、こちらの希望を入れて作成されていると思う	保護者様のニーズに加えて、現段階の課題に対する取り組みと未来に向けた現状の取り組みという形で方向性を固めて、執り行っています。学校・ご家庭・デイでの足並み揃いがとても重要になっています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1				
10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30				・色々なイベントがあり楽しんでいます ・いつもその子に合った作業やイベントを提供していただいております ・活動内容がバリエーション豊かでとても工夫されています	イベントの固定化を防ぐためにも恒例行事のみならず、初めてのイベントとして多彩なイベントを取り入れて、子どもたちの経験値を高めたいと考えています。	

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	15	3		12	・他事業所との合同イベントのことでしょうか ・以前は公園で関わりがあったかと思いますが今は？	平日では最寄りの公園に遊びに出かけています。そこでは地域の子どもたちや他事業所様の児童とともに遊んだりに関わりをもっています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	4		4	・ペアレントトレーニングや研修会など記憶にない ・研修会はあるのでしょうか？職員の方も参加されているものは？	保護者様に対しての研修会の実施をしていないのが現状です。事業所内では常に児童のみならず保護者様とのやり取りやご家庭状況等を話し合い、対応を統一できるようにしています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	30				・管理者の方も現場をしっかりと把握されており子どもをしっかり観察されています ・様子を伝えてもらうことで家では見られない姿を覚えてもらうこともあり嬉しく思う	日々の様子を送迎時にお伝えさせてもらう、連絡帳への記載、LINEを通じて動画や画像での様子をお伝えさせていただいております。まだまだ至らない点もありますので、今後より一層のサービスをご提供できるように努めて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30				・本人、親、共に共感的な対応をしてもらえるので安心できる	ありがとうございます
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	1	1	4	・きょうだい同士の交流は難しい所があるかと思いますが、ファミcaféなど参加はさせてもらっています ・開かれた場所となっており安心して子どもをお願いできる ・きょうだいの通いたいと思うほど、楽しい交流会がありいいと思う	近年、きょうだい児に対しての家庭内での過ごし方も重要視されています。ごきょうだいの方にも多くご参加していただき、楽しいを共有して、保護者様とも交流を深めていきたいと考えています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30				・連絡帳から子どもをよく観察して下さっているのを感じます	精進して参ります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29			1	・SNSの更新、楽しみにしています	SNSも業務の一環ですので、しっかり行わせていただきます。又、自己評価表においても保護者様に配布とHPに記載をしております。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	1		1	・個人情報管理についてはどのように保管されているのでしょうか？	利用者の個人ファイルは書庫（鍵付き）に保管していることと外部への漏洩がされないよう努めています。又、職員一人ひとりとは秘密事項誓約書を締結していますので、業務の中で知り得た個人にまつわる情報や会社情報は外部へ漏洩しない取り決めとなっております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	2		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1		5	・2階から非難するのはシューター？子どもたちは実際出来るのか不安	2階からの避難手段としましては、梯子を使用しての避難となります。事業所内での避難訓練はしていますが実際には職員が率先して児童の安全確保のために誘導と指示をして行動をしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	2		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	4		4	・職員によっては伝達がないこともある	職員間で統一をした伝達方法と共通認識をもって支援等をして参ります。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気を許している人ほどよく喋るので安心して楽しく通所していると思います</li> <li>・安心感より楽しみのが大きいように思います</li> </ul>	安心できる環境整備と子どもたちとの信頼関係、保護者様との関係値を高めて参ります
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のルーティンになっています。とても楽しく通所させてもらっています</li> <li>・きらめきさんに行けるのを楽しみに色々なことを頑張っています</li> <li>・とても楽しみにしている</li> </ul>	ありがとうございます 慢心せず、精進して参ります
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも色々なイベントを行って下さって子どもも楽しく通えています</li> <li>・様々な療育作業や色々なイベントを考えること大変かと思えます。感謝しています。</li> <li>・いつもありがとうございます。もちろん、大満足しています。</li> <li>・大満足している</li> <li>・他デイと比べて活気があり活動的で素晴らしいです</li> <li>・大満足です！未永く宜しくお願いします！とても良い事業所に巡り合えました。</li> </ul>	ありがとうございます 慢心せず、精進して参ります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		COCOきらめき		公表日		令和 8年 1月 25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	段差はなく、スライドドアで児童の力でも開閉がしやすく鍵もかけやすい。	2階では段差はないが、1・2階を結ぶ階段には手すりのみ設置しており、バリアフリー化はしていない		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		机一つひとつ向きを変えたりと、工夫を施しているため個室のような空間もできて集中しやすいように環境整備がされている			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝と帰りに申し送り・MGで振り返りと改善策を話し合うことが出来ている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		フィードバックされた内容を元に情報共有をして今後の支援や業務改善に活かしている			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		都度行っているとともに、必要に応じて従業員面談を取り入れている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内では勉強会・研修等を実施しており、外部の研修も積極的に参加している			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域との関連性を高め、支援の質の向上と児童の課題と改善策に繋げ、的を得た支援を実施している			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		6か月に一度、アセスメントを見直しニーズと未来に向けた目標設定、現状の支援方法を見直し作成している			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で児童状況の情報共有と支援方法を振り返り、今後の見立てを立てている			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員全員に周知をして、統一した支援方法を身につけ提供している			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	地域児童との交流はある	会社として地域住民との社会的交流はないので、今後の課題である
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者参加の会を定期的で開催している。そこできょうだい児の参加も行い、ともに過ごし、保護者間での悩みや苦悩、情報を共有している	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者が医師からの診断と指示を受けているので、デイでも共有している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎週ヒヤリハットを提出することにしてるので些細なことでも情報共有し、安全に過ごせること、支援者の質を高めるように務めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	COCOきらめき		
○保護者評価実施期間	令和 7年 11月 1日		～ 令和 7年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業員評価実施期間	令和 7年 11月 1日		～ 令和 7年 12月 29日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	正職員が多いので、的を得た支援が確実にできる 個別支援も内容のみならず、継続して確実にを行うことが出来ている	日々の課題を見える化しているので、一人ひとりに合わせた取組みを実行できる	課題克服のみならず、得意を伸ばすようにさらに子どもたち自身の「やりたい」に目を向けて、さまざまな取組みを取り入れて、飽きさせない工夫もしていきたい
2	父母の会を開催しているので、保護者同士の交流がある	普段の児童の様子をみてもらうことや褒めてもらえる機会を物理的につくっているため、今後さらに展開していきたい	保護者同士の交流をもっと増やしていきたい さらに勉強会等を開催して、ペアレントトレーニングや保護者の事例検討、お悩み等について意見交換会などを開催していきたい
3	毎月のイベント内容が多彩	マンネリ化しないように、新しい企画と恒例企画を織り交ぜながら、イベントを組んでいる	県外での楽しさ・学びのあるイベントを積極的に取り入れていきたい 児童の体験教室等を増やしながら、SSTを伸ばしていきたい

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少なく、社会資源を用いた運営をできるようにしていきたい	会社として地域へ溶け込み、社会資源の活用を強化していきたい	地域の活動に積極的に参加していく。会社で開催する催し事に招待する
2			
3			